



2024年10月30日

各 位

会社名 株式会社 カーリット
(URL : <https://www.carlithd.co.jp>)
代表者名 代表取締役兼社長執行役員 金子洋文
(コード番号 4275 東証プライム)
問合せ先 広報・IR推進室長 島田 拓
(TEL : 03-6893-7060)

カーリット、過塩素酸アンモニウム増産計画 第3期工事 着手のお知らせ

当社は、2024年10月30日開催の取締役会において、下記のとおり過塩素酸アンモニウム増産計画の第3期工事の着手を決議しましたので、お知らせいたします。

なお、本件は適時開示基準には該当しませんが、有用な情報と判断し任意開示を行うものです。

記

1. 増産計画の背景と経緯

当社グループは、2022年度を初年度とした中期経営計画「Challenge2024」における戦略の一つに「成長事業の加速化」を掲げております。過塩素酸アンモニウムは、事業ポートフォリオにおける「育成領域」にあたり、宇宙産業用途および防衛用途の将来需要予測を踏まえ、現状の2~3倍の生産能力を目指した総額25億円の増産計画に着手しています。現在、既にお知らせしております第1期および第2期の工事を進めており、本件は最終段階の第3期工事にあたります。

- ・第1期工事：2023年8月3日付リリース
「日本カーリット、過塩素酸アンモニウムの増産計画に本格着手」
- ・第2期工事：2024年3月29日付リリース
「日本カーリット、過塩素酸アンモニウム増産計画 第2期工事 前倒し着手」

2. 過塩素酸アンモニウムについて

過塩素酸アンモニウムは、H-IIA/BロケットやH3ロケットなどをはじめとした固体ロケットブースタ、また防衛産業用途の固体推進薬の主原料として用いられております。カーリットの社名の由来である「カーリット爆薬」の原料として1934年から製造を継続しており、固体推進薬原料としては1964年から販売を行っております。当社のコア技術である電気分解技術や、危険物の取り扱いノウハウを用いた製品です。

投資額は第1および第2期工事合わせて約10億円、本第3期工事の投資額は約15億円となる予定です。今後も本計画の状況につきましてはステークホルダーの皆様への情報開示してまいります。

3. 計画の概要

- (1) 立 地：(株)カーリット 群馬工場内（群馬県渋川市半田 2470 番地）
- (2) 工 事 期 間：2023年11月～2026年下期を予定
- (3) 全 面 操 業：2027年度を予定
- (4) 設 備：原料製造設備および過塩素酸アンモニウム製造設備等
- (5) 工事の進め方：第1期工事 2023年11月～2024年度下期（進行中）
第2期工事 2024年4月～2026年度上期（進行中）
第3期工事 2025年4月～2026年度下期（今回着手）

以上